

キーワードは 歩きやすい街 コンパクトシティ

「まちづくりが僕のライフワークです。」と言うようになって20年になろうとしています。噴火災害から20年、ずっと島原のまちづくりを考えてきました。

確信を持って言えるのは、歩行者を大切にすること、歩行者の立場で「まちづくり」を考えることです。歩行者に優しい街、歩きやすい街が「まち」であります。

今をときめくコンパクトシティの考え方も、車に依存しすぎて歩くことを忘れ、だだっぴろく広がってしまった街への反省からでした。

改めて歩行者の立場から島原の町を見直したいと思います。文字どおり地に足をつけて、歩いて考えようと思います。

■島原病院（旧温泉病院）は 何故いちばん奥に建ったのか？

島鉄外港駅やバス停に隣接する広い敷地のなぜいちばん奥に病院を建てたのか？改めてこの歩行者を無視した「愚行」を反省しておきたい。

言われてみればナルホドね。敷地の一番手前に建てておけば、歩行者は労せずに通院できたのに、車にとってはどちらでも大差ないのに……。

おそらく単純に、決定する人たちの中に歩行者が不在で（みな車で移動する人たちで）「歩行者の立場で考える」ことが出来なかったのだろう。

しかしこれは、ついうっかりでは済まされない決定的な「失敗」ではないでしょうか。

情報発信！

島原市議会議員
松坂まさおです。
正直がいちばん！
をモットーに
情報公開に
務めています。



ブログ「新土佐日記」もご覧下さい。

●プロフィール

松坂昌應（まつさかまさお）

昭和29年4月28日 島原市弁天町生まれ

島一小・島一中・島原高校(25回卒)

慶應義塾大学文学部(国文学)卒

茗溪学園中学高校(つくば市)国語教諭

帰郷後、現所在地島原市上の町に在住

[有]わかば写真館経営:店舗住宅併用

森岳商店街会長

森岳まちづくりの会事務局長

がんばスタンプ[協]理事

原爆被爆者二世の会島原支部会長

島原市議会議員(2003年～)二期め

父・妻との三人家族

娘2人は福岡(美容師)東京(大学生)

尊敬する人:マザー・テレサ

発行責任者:松坂昌應(政策研究会)

〒855-0045 島原市上の町927-14

電話:0957-62-4414

携帯:090-2587-4622

メール:news@masao-m.com

HP:http://masao-m.com/

松坂まさおですすぐ検索できます

視察調査レポートより 2010. 10. 21

富里市訪問(千葉県人口5万)



富里市のさとバスは、10年続く市内循環バス事業である。当然赤字である。1400万円でバス2台を上手く循環させて4路線を維持している。運賃収入は150万円ほどの事、差額はもちろん富里市の一般財源だ。

そもそも、10年前の実証運行で、各路線平均乗客数が、各路線とも一廻りで1.4人とか1.7人の圧倒的赤字体質が明らかになっても、「困っている年寄り」ではなく、「困っているお年寄りが1~2人もいる、今後とも増えていくことを考えれば、家の中に閉じこもってしまわないように「運行を続けよう」としたその英断が素晴らしいではないか。こうなると、これは市(市長)の哲学の問題だ。